英文法 L01 第 48 講 関係副詞

学習目標

先行詞の意味と後続節の構造を確認し、基本の where・when・why を選ぶことができる。関係代名詞との違いを、後続節に必要な成分がそろっているかどうかを根拠に判断できる。

1. 関係副詞と where

定義

関係副詞は、名詞を後ろから説明する節を導き、その名詞と節の中の場所などの関係を示す語だ。**先行詞**とは、後ろの節によって説明される名詞をいう。

解説

where は、場所を表す先行詞を後ろから説明するときに使う。

I know a park where children play.（私は子どもたちが遊ぶ公園を知っている。）

この文では、a park が先行詞で、where children play がそれを後ろから説明する節だ。主節は I（主語）+ know（動詞）+ a park（目的語）という語順になっている。一方、where の後ろは children（主語）+ play（動詞）で、play に目的語は必要ないため、節に必要な成分がそろっている。

このように、後続節の「完全」とは、必要な主語・動詞・目的語などがそろっていることを指し、あらゆる副詞要素がそろっているという意味ではない。場所を表す名詞があるだけで where と決めず、後ろの節の形と意味も確認する。

2. when と why

解説

when は時を表す先行詞を、why は理由を表す先行詞 reason を後ろから説明するときに使う。

I remember the day when we met.（私は私たちが出会った日を覚えている。）

この文では、the day が先行詞で、when we met がその日を後ろから説明している。when の後ろは we（主語）+ met（動詞）という語順で、met に目的語は必要ないため、必要な成分がそろっている。

I know the reason why she left.（私は彼女が去った理由を知っている。）

この文では、the reason が先行詞で、why she left がその理由を後ろから説明している。why の後ろは she（主語）+ left（動詞）という語順で、left に目的語は必要ないため、ここでも必要な成分がそろっている。

このように、when は時、why は理由との関係を示す。ただし、the day や the reason の後ろでは、when や why 以外の形が自然な場合もある。先行詞の意味だけでなく、文全体の形と意味を確認することが大切だ。

©ミライコーチング

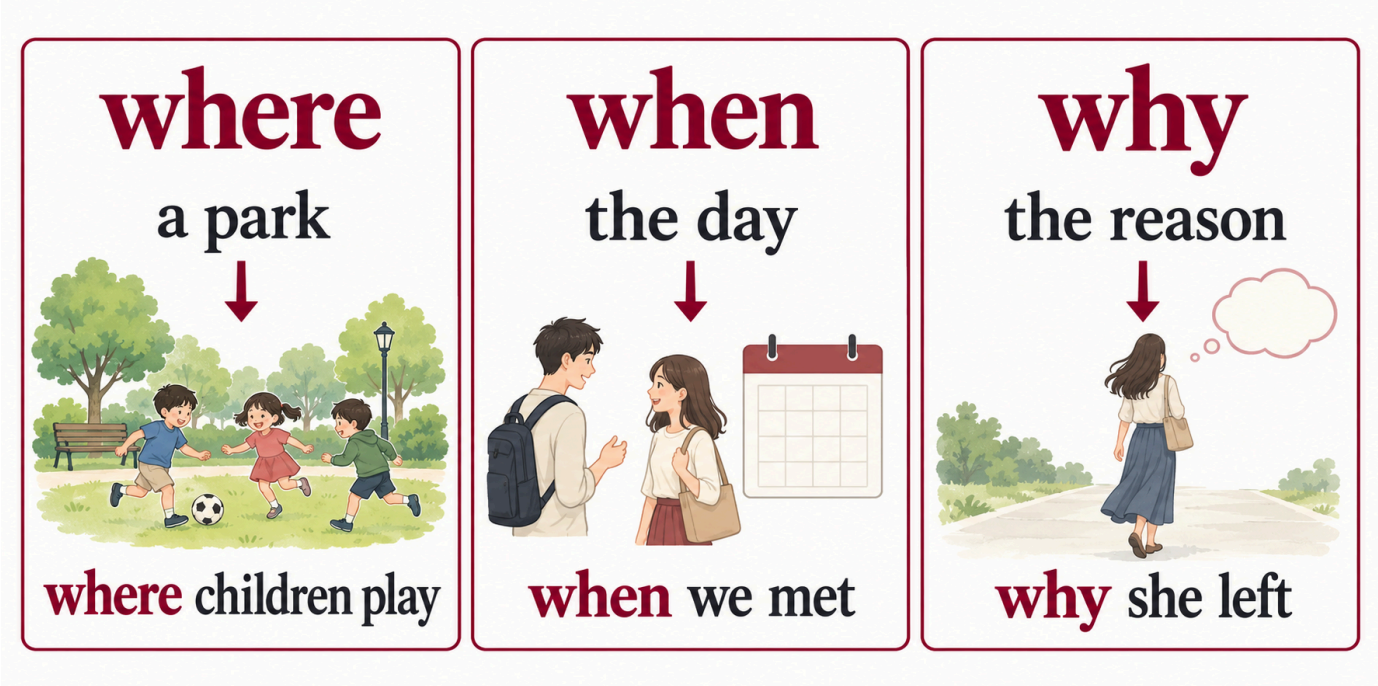


図 1　a park where children play は「子どもたちが遊ぶ公園」、the day when we met は「私たちが出会った日」、the reason why she left は「彼女が去った理由」を表す。where・when・why は、それぞれ場所・時・理由を表す先行詞を後ろの節に結び付ける。

3. 関係代名詞との見分け方

解説

関係副詞と関係代名詞は、先行詞の意味だけでは見分けられない。次の 2 文はどちらも the park を説明するが、後続節の形が違う。

This is the park where we played.（これは私たちが遊んだ公園だ。）

where の後ろは we（主語）+ played（動詞）という語順だ。ここでの played は目的語を必要としない。where は「その公園で」という場所の関係を示す。主語・動詞など必要な成分がそろうため、後続節は「完全節」だ。

This is the park which we visited.（これは私たちが訪れた公園だ。）

which の後ろは we（主語）+ visited（動詞）という語順だ。この文では、visited を目的語を伴う「〜を訪れた」という意味で使っている。関係代名詞 which がその目的語に当たり、先行詞 the park を指す。つまり、後続節では目的語に当たる語が欠けている。

判断するときは、まず先行詞が表す意味を確認し、次に後続節に必要な主語・目的語などがそろうか調べる。場所を表す名詞だから必ず where とは限らない。when や why も、時・理由の意味と後続節の構造を合わせて判断する。本講では、名詞を後ろの節で説明し、指す対象を絞り込む基本的な使い方だけを扱う。

This is the park where we played.
場所を結ぶ関係副詞 [場所]: “where”

主語 [主語]: “we”

動詞 [動詞]: “played”

This is the park which we visited.
訪れた対象を表す目的語 [目的語]: “which”

主語 [主語]: “we”

動詞 [動詞]: “visited”

例題

1

空所に入る最も適切な語を選べ。

Our school has a library (　　) students read books after class.

A. which

B. where

C. when

D. why

解答・解説

正解：B. where

完成文：Our school has a library where students read books after class.（私たちの学校には、放課後に生徒たちが本を読む図書館がある。）

まず、先行詞は library（図書館）で、場所を表す名詞だ。次に、空所の後ろを見ると、students（主語）+ read（動詞）+ books（目的語）+ after class（放課後に）という語順になっている。主語・動詞・目的語がそろっており、「図書館で本を読む」という場所の関係を表すため、関係副詞 where が適切だ。

A. which：関係代名詞 which は、節の中で主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 students と目的語 books がすでにあるため、which がその役割に入る余地がない。

B. where：正解。場所を表す library を後ろから説明し、where 以下の節で「図書館で本を読む」という場所の関係を示している。

C. when：時を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は時ではなく、場所を表す library なので適切ではない。

D. why：理由を表す先行詞 reason を説明するときに使う。この文の先行詞は理由ではなく、場所を表す library なので適切ではない。

©ミライコーチング

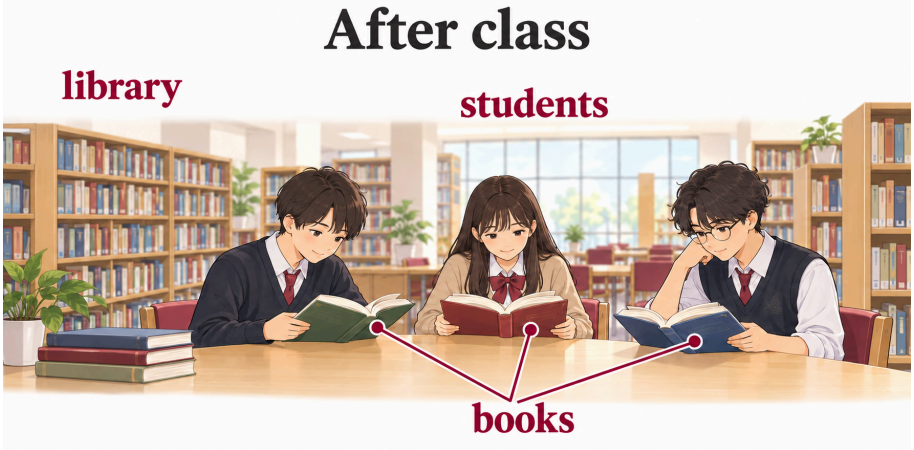


図 2　放課後の図書館で 3 人の生徒が本を読む場面を示す。図中の After class は「放課後」、library は「図書館」、students は「生徒たち」、books は「本」を表し、library は場所、students は読む人、books は読まれる対象であり、where が場所の関係を結ぶことを示している。

2

空所に入る最も適切な語を選べ。

This is the library (　　) has many books.

A. where

B. when

C. why

D. which

解答・解説

正解：D. which

完成文：This is the library which has many books.（これはたくさんの本がある図書館だ。）

まず、先行詞は library（図書館）で、場所を表す名詞だ。しかし、先行詞が場所を表すからといって、必ず where を使うわけではない。空所の後ろは has（動詞）+ many books（目的語）という語順で、has の主語が欠けている。ここで関係代名詞 which が先行詞 library を指し、後続節の主語を担うため、文が成立する。

A. where：場所の関係を示す関係副詞だ。しかし、where を入れても has の主語が補われず、後続節に必要な成分が欠けたままになる。

B. when：時を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は時ではなく図書館なので、意味が合わない。

C. why：理由を表す先行詞 reason を説明するときに使う。この文の先行詞は理由ではなく図書館なので、意味が合わない。

D. which：正解。関係代名詞 which が library を指し、後続節の主語になる。which（主語）+ has（動詞）+ many books（目的語）となり、必要な成分がそろう。なお、実際の英語ではこの位置に that を使うこともできるが、今回の選択肢では which が正解だ。

©ミライコーチング

演習問題

1

空所に入る最も適切な語を選べ。

I remember the night (　　) we slept well.

A. when

B. where

C. why

D. which

2

空所に入る最も適切な語を選べ。

We understand the reason (　　) he was upset. 語注：upset 動揺して

A. when

B. where

C. why

D. which

3

空所に入る最も適切な語を選べ。

The park (　　) children play soccer is near school.

A. why

B. which

C. when

D. where

4

空所に入る最も適切な語を選べ。

I remember the day (　　) my sister was born. 語注：be born 生まれる

A. where

B. when

C. which

D. why

©ミライコーチング

5

空所に入る最も適切な語を選べ。

叔父が買った対象がその家であることを表す。

This is the house (　　) my uncle bought.

A. where

B. when

C. which

D. why

6

空所に入る最も適切な語を選べ。

I remember the day (　　) changed my life.

A. which

B. where

C. why

D. when

7

空所に入る最も適切な語を選べ。

I like the town (　　) has a small lake.

A. when

B. which

C. where

D. why

8

空所に入る最も適切な語を選べ。

This is the room (　　) we eat lunch.

A. why

B. when

C. which

D. where

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：A. when

完成文：I remember the night when we slept well.（私は私たちがよく眠れた夜を覚えている。）

先行詞は the night（夜）で、時を表す名詞だ。空所の後ろは we（主語）+ slept（動詞）+ well（よく）という語順になっている。ここで slept は目的語を必要としないため、主語・動詞など必要な成分がそろっている。「その夜に」という時の関係を示す when が適切だ。

A. when：正解。時を表す the night を後ろから説明し、we slept well という必要な成分がそろった節と時の関係を結んでいる。

B. where：場所の関係を示す語だ。先行詞 the night は時を表しており、この文で表したい関係に合わない。

C. why：理由を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は理由ではなく夜なので、意味が合わない。

D. which：関係代名詞 which は、後続節の主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 we と動詞 slept があり、slept に目的語も必要ないため、which が担うべき役割がない。

2

正解：C. why

完成文：We understand the reason why he was upset.（私たちは彼が動揺していた理由を理解している。）

先行詞は the reason（理由）だ。空所の後ろは he（主語）+ was（動詞）+ upset（彼の状態を表す語）という語順になっており、主語・動詞・補語がそろっている。why は、彼が動揺していたことと、その理由を結び付ける。したがって、この 4 択では why が適切だ。

A. when：時を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は時ではなく理由なので、意味が合わない。

B. where：場所の関係を示す語だ。この文では場所ではなく、彼が動揺していた理由を説明するため、適切ではない。

C. why：正解。理由を表す the reason を後ろから説明し、he was upset という必要な成分がそろった節と理由の関係を結んでいる。

D. which：関係代名詞 which は、後続節の主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 he があり、was upset で状態も表されているため、which が担うべき役割がない。

©ミライコーチング

3

正解：D. where

完成文：The park where children play soccer is near school.（子どもたちがサッカーをする公園は、学校の近くにある。）

先行詞は the park（公園）で、場所を表す名詞だ。where の後ろは children（主語）+ play（動詞）+ soccer（目的語）という語順で、必要な成分がそろっている。「その公園で」という場所の関係を示すため、関係副詞 where が適切だ。

A. why：理由を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は理由ではなく公園なので、意味が合わない。

B. which：関係代名詞 which は、後続節の主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 children と目的語 soccer がすでにあるため、which が担うべき役割がない。

C. when：時を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は時ではなく公園なので、意味が合わない。

D. where：正解。場所を表す the park を後ろから説明し、children play soccer という必要な成分がそろった節と場所の関係を結んでいる。

4

正解：B. when

完成文：I remember the day when my sister was born.（私は姉（妹）が生まれた日を覚えている。）

先行詞は the day（日）で、時を表す名詞だ。when の後ろは my sister（主語）+ was born（生まれた）という語順で、主語と動詞がそろっている。「その日に」という時の関係を示すため、関係副詞 when が適切だ。

A. where：場所の関係を示す語だ。この文では場所ではなく、姉（妹）が生まれた日という時の関係を表すため、意味が合わない。

B. when：正解。時を表す the day を後ろから説明し、my sister was born という必要な成分がそろった節と時の関係を結んでいる。

C. which：関係代名詞 which は、後続節の主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 my sister と動詞 was born がすでにあり、which が担うべき役割がない。

D. why：理由を表す先行詞を説明するときに使う。この文の先行詞は理由ではなく日なので、意味が合わない。

©ミライコーチング

5

正解：C. which

完成文：This is the house which my uncle bought.（これは叔父が買った家だ。）

先行詞は the house（その家）だ。設問の意味条件は、叔父が買った対象がその家であることを示している。空所の後ろは my uncle（主語）+ bought（動詞）という語順で、ここでは bought の目的語が欠けている。which が先行詞 the house を指し、bought の目的語を担うため、C が適切だ。

A. where：場所の関係を示す関係副詞だ。この設問では、叔父がその家で何かをしたという場所の関係ではなく、叔父が買った対象がその家であることを表すため、条件に合わない。

B. when：時の関係を示す語だ。先行詞 the house は場所を表す名詞であり、時の関係を表す文脈でもないため、適切ではない。

C. which：正解。関係代名詞 which が bought の目的語となり、叔父が買った対象が先行詞 the house であることを表す。

D. why：理由の関係を示す語だ。この文では理由を説明するのではなく、買った対象を示すため、意味が合わない。



図 3　my uncle は「私の叔父」、bought は「買った」、the house は「その家」を表し、叔父から家へ向かう太い矢印は、買った対象がその家であることを示す。which は bought の目的語として the house を受け、家という場所の関係を示す where とは役割が異なる。

6

正解：A. which

完成文：I remember the day which changed my life.（私は自分の人生を変えた日を覚えている。）

先行詞は the day（日）だ。時を表す名詞だが、それだけで when を選ぶわけではない。空所の後ろは changed（動詞）+ my life（目的語）という語順で、changed の主語が欠けている。関係代名詞 which が先行詞 the day を指し、changed の主語を担うため、A が適切だ。

A. which：正解。関係代名詞 which が changed の主語となり、「その日が私の人生を変えた」という関係を表す。

B. where：場所の関係を示す関係副詞だ。しかし、この文では changed の主語が必要であり、where ではその役割を担えない。

C. why：理由の関係を示す語だ。しかし、この文では changed の主語が欠けており、why ではその役割を補えない。また、先行詞 the day は理由ではなく日を表す。

D. when：時の関係を示す関係副詞だ。先行詞 the day は時を表すが、この文で必要なのは時の関係を示す語ではなく、changed の主語となる語である。そのため、この 4 択では which が適切だ。

7

正解：B. which

完成文：I like the town which has a small lake.（私は小さな湖があるその町が好きだ。）

先行詞は the town（その町）で、場所を表す名詞だ。しかし、空所の後ろは has（動詞）+ a small lake（目的語）という語順で、has の主語が欠けている。関係代名詞 which が先行詞 the town を指し、has の主語を担うため、B が適切だ。

A. when：時の関係を示す語だ。先行詞は町であり、時の関係を表す文脈でもないため、適切ではない。

B. which：正解。関係代名詞 which が has の主語となり、「その町に小さな湖がある」という内容を表す。

C. where：場所の関係を示す関係副詞だ。しかし、where では has の主語を補えず、後続節に必要な成分が欠けたままになる。

D. why：理由の関係を示す語だ。この文では理由ではなく、町について説明しているため、意味が合わない。

8

正解：D. where

完成文：This is the room where we eat lunch.（これは私たちが昼食を食べる部屋だ。）

先行詞は the room（その部屋）で、場所を表す名詞だ。where の後ろは we（主語）+ eat（動詞）+ lunch（目的語）という語順で、必要な成分がそろっている。「その部屋で昼食を食べる」という場所の関係を示すため、関係副詞 where が適切だ。

A. why：理由の関係を示す語だ。この文では理由ではなく、昼食を食べる場所を説明しているため、意味が合わない。

B. when：時の関係を示す語だ。この文の先行詞は時ではなく部屋なので、意味が合わない。

C. which：関係代名詞 which は、後続節の主語や目的語などの役割を担う。しかし、この文では主語 we と目的語 lunch がすでにあり、which が担うべき役割がない。

D. where：正解。場所を表す the room を後ろから説明し、we eat lunch という必要な成分がそろった節と場所の関係を結んでいる。

©ミライコーチング